

事業計画書

事業名	子育て応援プロジェクト
実施場所	沼津市内全域
実施予定期間	平成30年4月15日～平成31年2月28日

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	<p>社会的変化に伴い核家族化が進み、親族と離れて出産・育児をする家族も多く、家庭のみでの孤独な子育てを防ぐため、地域ぐるみで様々な関係機関や専門家が連携し、子育て支援をする体制の整備が必要とされています。</p> <p>この支援体制の整備にあたり、国では平成26年度に妊娠・出産包括支援モデル事業をもとに、平成27年度からは妊娠・出産包括支援事業として本格的に実施されているところであり、平成29年8月には厚生労働省が「産前・産後サポート事業ガイドライン」を公表し、利用者目線に立った一貫性・整合性のある支援のありかたが示されました。</p> <p>当団体は、主に乳幼児の栄養相談等（平成29年度はスタート支援型で実施）に取り組んできましたが、同ガイドラインに沿った事業として、特にニーズの多かった離乳食・幼児食の栄養相談を、電話やメールで随時受け、必要に応じてスタジオレッスンや訪問指導を行い、子育て中の保護者の食の悩みを解決し、安心して育児に取り組める社会を作ります。</p> <p>子育ては家庭や地域での日々の暮らしの中で行われるものであり、こどもだけでなく、親自身も成長する体験が健全な育児へつながります。</p> <p>次年度は、親子で参加できるイベントを開催し、地域での交流をはかり、同じ悩みを持つ保護者同士が繋がることや子育て経験者からアドバイスをうけることで、育児の悩みを解決できる場所を提供していきます。</p> <p>このワークショップを通じ、専門家が保護者に寄り添ったサービスや助言をすることで、健全な親子関係を築き、子育て世代を地域で親身に支え、子育てに良好な環境を実現するために次の事業を実施いたします。</p> <p>目的：子育て中の保護者の悩みを解決し、こどもが健やかに育つ社会をつくる。子育てをしやすい環境を整え、沼津市のファミリー層を増加させる。</p> <p>対象：乳幼児を子育て中の保護者</p> <p>内容：① 「食」の困りごとお助け隊 電話・メールによる栄養相談 離乳食・幼児食のスタジオレッスン・訪問指導 地区センター・子育て支援センターでの栄養講話および栄養指導 開催日 期間中に随時（全10回程度） 人員配置 栄養士1名/回</p> <p>② ママデイサービス 育児相談・栄養相談・骨盤ストレッチ・食事・入浴・休憩 （赤ちゃんの託児）</p>

	<p>募集人数 10組/回</p> <p>開催日 1回/月(全11回)</p> <p>人員配置 保健師1名・栄養士1名・ヨガインストラクター1名 託児3名/回</p> <p>③親子で楽しめるワークショップ</p> <p>趣味の時間と食事の提供</p> <p>募集人数 10組/回</p> <p>開催日 1回/月(全11回)</p> <p>人員配置 ワークショップ講師1名・栄養士2名/回</p>
--	---

◎事業効果

※事業の効果を記載して下さい。

ソフト部門のステップアップ型事業・ハード部門4事業については、事業効果に対して、客観的な評価ができるよう、成果指標と数値目標を設定するなど、その検証方法を必ず明記して下さい。

沼津市の人口減少に伴い、赤ちゃんの出生数が年々減少している。

行政や病院での乳幼児健診時より、もっと気軽に悩みを打ち明ける場を提供し、同じ悩みを持つ保護者同士がつながることや、個々の相談内容に対応することで、「食」に関する不安や悩みを解決し、安心して子育てに取り組むことができる社会を作る。

子育てで日頃自分の時間が持てない保護者に癒しの時間を提供することで、健全な育児に取り組むことができる社会を作る。

地域で同じ悩みを持つ保護者同士が繋がることで、沼津市で家族を増やしたい、沼津市で子育てをしてよかったと思える環境を整え、ファミリー層の増加が期待できる。

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを確認して下さい。

公益性	<p>※不特定多数の住民の利益の増進、地域のまちづくりの推進に寄与する事項等を記載して下さい。</p> <p>子育て中の食の悩みを抱えている保護者に対し、食の専門家である栄養士が指導アドバイスをすることにより、保護者の不安や悩みを解決することで、安心して子育てができ、子供が健やかに育つ社会をつくる。保護者に育児中の疲れを癒す時間を提供することで、からだと心をケアし、健全な育児に取り組める社会をつくる。①②の事業で繋がった親子に対し、子育て応援を継続していけるよう、親子で参加できるイベントを開催することで、長期に渡って育児の悩みを解決したり、楽しみの時間をつくり、子育てが楽しくなる社会をつくる。すべての事業において利用者の気持ちに寄り添い、丁寧に個々への対応をしていくことで、クオリティーの高い子育てサービスを提供し、沼津市を子育てしやすいまちにする。</p>
発展性	<p>※活動の広がりや波及効果がどのくらい見込め、地域の発展・活性化につながるのか記載して下さい。</p> <p>保健センター・子育て支援センターの利用者や参加者へ周知をし、孤独な子育てで不安を抱える保護者が気軽に相談できる場所づくりをすることで、ひとりでも多くの「食」の困りごとや育児の悩みを解決する。「食」に関する知識を持ち、正しい情報を得ることで、偏った食生活による子供の脳や発達の障害の予防や、将来に向けて健やかに育っていくための丈夫なからだを作る。自分の時間を持つことが難しい子育て中の保護者のからだと心のケアをすることで、リフレッシュして育児に臨むことができる。</p>

地域性	<p>※地域の実情・課題の解決に向け工夫した点、地域資源の活用などについて記載して下さい。</p> <p>沼津市内に乳幼児の「食」の困りごとを気軽に相談できる場所をつくり、沼津市で子育てをしている保護者が孤独な子育てから解放され、悩みや不安を解決できる窓口をつくっていききたい。県東部で初の子育て中の保護者に対するデイケアサービスを実施し、沼津市で子育てをしたいと思えるまちづくりに繋げたい。</p>
必要性	<p>※事業を実施する意義や、補助金の交付が有益で質の高い事業展開につながる理由について記載して下さい。</p> <p>乳幼児をもつ保護者の約7割が保健所や保健センターで離乳食について学んでいるにもかかわらず、8割の保護者が「食」に関する困りごとを抱えているが、実際に行政や病院での乳幼児健診時は、保護者がゆったり相談できる時間や雰囲気がないため、気軽に相談できる場所や個々の相談内容に対応するしくみが必要である。子育ての悩みはこどもの成長とともに日々変化し、小さな悩みも保護者にとっては深刻化する場合がある。保護者同士の交流の場を作り、育児の悩みを受けながら、子育てで日頃自分の時間を持たず、疲れが溜まっているからだのケアをする時間や場所が必要である。事業を通じて繋がった保護者同士が交流する場所や親子で気軽に参加し楽しむことのできるイベント開催は、楽しみながら育児をしていくために必要である。</p>
先導性	<p>※事業の新規性や独自性など、工夫した点について記載して下さい。</p> <p>沼津市内で、離乳食や幼児食の悩みに対し、気軽に相談ができるシステムがないこと。個々の相談内容に応じて個別の食事作りのレッスンを受けられる場所がないこと。同じ悩みを持つ保護者のつながりを作ることで、個々の不安を解消できることが期待でき、子育てや家事のベテランであり、食の専門家である栄養士が具体的なアドバイスをすることにより、健やかな子供の成長と食生活の改善が期待できる。育児中の保護者の疲れを少しでも癒す時間を作ることで、健全な育児に取り組むことができる。</p>
継続性	<p>※助成事業終了後も継続的・自立的な活動とするために、どのように取り組んでいくかについて記載して下さい。</p> <p>これまで実施した事業の利用者が大変多かったため、引き続き子育て中の保護者に対して食の悩みを解決するサービスを継続しながら、新たな事業を通じて繋がった保護者を長期に渡り支援していくシステムを作っていきたい。事業実施にあたり、保健センター・子育て支援センター・地区センター・市内小児科・産科などへ同事業の趣旨を広く周知し利用者を増やしていきたい。</p>

◎特に高い公益性を有することの説明

※補助金申請額が「特に公益性が高い事業」に該当する場合は、その理由を記載して下さい。

栄養相談や育児相談は、行政や病院での健診でも行われているが、一般市民にとって保健センターは敷居が高いイメージがあること。病院ではゆっくり相談できる雰囲気がないこと。メールによる気軽に相談できる窓口がないこと。個別の食事作りのレッスンを行うことが難しいこと。育児や食の悩みはこどもの成長とともに変化し、尽きない悩みに対して継続的に相談を受けるシステムがないこと。子育てをしながら保護者がひとりになる時間を持つことが難しいことで、日頃の疲れを取ることができず、からだも心も疲れてしまうため、保護者の癒しの時間を提供するサービスが必要なこと。こどもの成長とともに親子で参加できるイベントや趣味を楽しむ時間や保護者同士の交流できる場所が必要であること。